新成人者に抱負を聞く

ことしも、一七一名の人が成人となられました。ほんとうにおめでとうございます。

終戦の混乱期に生をうけ、苦しい戦後を生きぬいて成長したわこうどたちに、栄光が輝くよう心からお祝い申しあげます。

成人の日とは「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝いはげます」ための祝日として、その意義が定められています。

成人を迎えられるみなさんには、きっと清純な情熱のなかで、成人社会での新しい夢がかけめぐっていることと思います。そこで、成人を迎えた人たちの中から七名の人たちに、その喜びと抱負を聞いてみました。

ひとくちでいえば、成年者になることは、社会生活上、独立の人として、その法律的地位が認められるということです。ですから、その地位に恥じないように、自らの判断と責任で行動されて、りっぱな社会人になられることを、期待いたします。

根性と信念のある農業を

善慶寺　(農業)
加藤　和夫

つつしんで成人のみなさまにおよろこび申し上げます。

自分も成人の仲間入りができ希望にもえております。まず第一に、真価ある農民として躍進して行きたいと思います。私は農家の長男として生まれ、農業をどこまでも背負って立つよう、日本の美しい家族制度から祖父母、両親に教えられ、私の意志あつて農業高校を卒業し、社会へ大きな希望を抱いて飛びだしたことし成人として、おとなの仲間入りができました。今では一から十までの仕事ができるように根性と信念を持ってますますがんばって農業に従事し、農業発展のためにも力を尽くそうと思う。

だが、世間はそう甘くはありませんから、「正直は一生の宝」とかいう言葉がありますが、正しい者が損をしないような世の中でありたいと望みます。

また、農家の嫁ききんである「娘ひとりに婿十人」といわれてる現在、これをどうしたらよいか！。お互いに力を合わせて封建制をくずし、長男はしっかりした考えを持ちまた休日等を設けて、楽しい余暇を作ったりすれば、決して農業をきらわないと私は思う。何事もそうであるが、農業をやるうえに「成せば成る」という根性と信念をもって努力して行きたい。

上野　(会社員)
田中　梅子

にじみでる美しさを

私たちは一発の号砲とともに、スタート線からおとなの社会へ、不安と好奇心とを持つて出発しました。まだ社会的地位や経済的余裕が伴わず健康なおとなの肉体があるのみです。これからの眼前に展開する数多くの問題には、安易な考えは許されず、自分自身で悩み、苦しみ、痛めつけて、真の解答を得たうえで、勇気を持ってぶつかつて行かなくてはなりません。私たちが険しい山を努力して登るのと同様に、努力すればするほど苦難が、きびしければきびしいほど、その到達地点は高度であつて、すばらしいものではないでしょうか。若いうちは、とかく誤りを見のがされがちです。でもそれに甘えていたのでは何の進歩発展も見られず、経験から出る人生の、みがかれた、にじみ出るような、美しい光は、発散する事はできません。

私は美しくなりたいために鏡の前に坐つて、マニキュアや口紅と、長時間語り合う時があります。目や鼻、口、等の配列がちよつと違うだけで喜びが去つて行つてしまうがでも、そんな造作的なメッキだけの美しい光ではなく、内面的に高められたものが、外面に美化された美しさを持ちたいものです。そして心の和人との調和を保ちながら、人生を社会を、勇気を持つて歩みたいと思います。にじみでる美しさのなかに真実があることを信じています。

自己の仕事を前向きに

秋畑（有線勤務）
宇佐美和子

新春とともに成人式を迎えたいへんうれしく思います。

小さな生命を親からいただいてから二十年間、自分に与えられた義務を果して、やりぬいてきたかどうか考えてみると、与えられた義務の半分すらやつてないのではないかと思います。とうとう来るものが来た、私もやつとおとなの仲間入りができる、その喜びの中にも、成人社会の中へ突進して行こうとしている自分に、とても不安を感じています。最近では、農村後継者の問題は、だいぶさわがれているようですが、自分で計画を立ててやろうとしている若者に、親たちは、「昔はこうだつた。今の若い者は理屈ばかり言つて、仕事をしない。」と口癖のように言つてしまうこれでは家を出たくなるのもあたりまえです。もう少しまわりの人の理解がなければ、このような問題は下火にならないのではないでしょうか。

人はだれしも、長所、短所があります。だから、仕事も自分に適した仕事に、自分にあるだけの技術と能力をつぎ込むことこそ、たいせつだと思います。そして、自分にあつた仕事に、いつも前向きの姿勢と責任を示して、全力で励むなかから、新しい社会人としての生き方が生れてくるのだと信じております。

新らしい成人社会の門出に立つて、自分に与えられた義務は、責任をもつて果せるよう、自分なりに努力して行くつもりです。

農村の食生活を改善したい

小川（明和学生）
高橋あや子

私たちの人生には、幾度か起点というものがあります。成人式も一つの起点です。

社会を造るための自己を自覚し、適格な判断と理性によつて、私たちは、社会の問題を追求・研究する態度を常に維持し、前進しなければならないと思います。

こんにち、世界はめまぐるしく変わりつつあり、医学や化学の進歩はめざましいものがあります。しかし、日本は戦後二十年経た現在、民主主義とはいえ、昔の封建主義の精神が、ひとびとの心に根強く残つている事は、否めない事実であります。それは不合理性を生み、文化の向上を妨げているといつてもよいでしょう。日本の文化が、世界で高く評価されているにもかかわらず、食生活においては、後進国以下であります。権威ある先生の栄養調査報告に、農村に高血圧や胃がん等の成人病が多いのは、食生活の不適格があげられています。健康で平和な生活があつてはじめて文化の向上が望めるのです。現在農村の食生活改善が叫ばれていますが、じゅうぶんとは申せないのが現状です。しかし、これからの食生活改善は、若い私たちの双肩にかかつているといえましょう。

栄養学を学んでいる私は、成人式を迎え新たな決意で、食生活改善を自己実践し、農村の不合理な食生活の改善と多くの人の健康管理に努力し責任ある一社会人として生きたいと思います。

うるおいのある人間に

金井（家業手伝い）
中久木　晃

ぼくたち終戦つ子が、こんど成人に仲間入りするのである。今日の成人社会は、特に社会における人間関係の円満ということが最もたいせつだと思う。ぼくたち、ひとりひとり個人の生活態度なり行動なりが、自分だけですむというのではけつしてない。必ずといつて社会に及ぼす影響がある。特にこれからの成人社会において、それが大きくむかつてくると考えられる。だからお互いに相手の立場にたつて、それを尊重するという心がけが必要である。お互いに神様でなく凡人であるからには、錯誤や矛盾、衝突はまぬがれないし、ひとりひとり身勝手なことをしていると、愚痴と不平の連発に、いやけがさすにちがいない。ぼくたちの先祖から体験してきた、人間関係のむずかしさ、みにくさ、これはたくさんの努力とたくさんの根気によつて、是正していくことが不可能ではない。それには相手の心をいたわることが必要である。

ぼくのモットーは「心にゆとりとうるおい」である。

そのモットーから遠のくというおそれから、自分を守るため、そしてこれから迎える成人社会を、有意義に過ごすため、がんばつていかなければならない。

まだアトムやオバQのファンであるぼくが、そういう人になるには、多くの年月がかかるであろうが、いつかはその理想に近ずいた人間になるように、そして、少しぐらいのことにはくじけない勇気と信念をもつて、一歩、一歩しつかりがんばつて行きたいと思います。

成人のきびしさをみつめて

天引（銀行員）
藤良子
佐

私たち終戦つ子もやつと二十才を迎え、今やあこがれと希望にみちたおとなの世界に出発しようとしております。

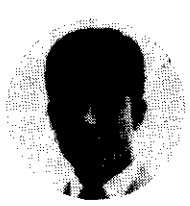
「成人」美しい、それでいてきびしい響きをもつた言葉ではないでしょうか。それだけに私たちはまず「おとなになる」ことに対して、あ…がれや希望以前に「不安」を感じます。「おとなになる」これはとつてもむずかしい事ではないだろうか。成人式を迎えれば、それで世間の人たちは、おとなになつたことを認めてくださるかもしれませんこんな形式的なおとなだつたら、だれにでもなれます。

しかし、これからの社会に出発する人間としては、無価値です。自分の能力を見きわめその能力の限界まで努力でぎる人間こそ「真のおとな」になれるのではないだろうか

私たちは一日でもはやく、一歩でもはやく、それに近づくよう努力しなければなりません。きびしい現代社会、何事も競争一本です。私たちはこれからこの競争に遅れず、そして破れることのないよう努力するのです。しかし、その事ばかり夢中になつて人間本来の姿、健全なる肉体に健全なる精神が宿ることを忘れてはなりません。これからの社会は又、精神修養の場でもありたいと思います。

二十才になつたこんにち、ふと今までの自分をふりかえり、まだまだ努力不足なことそして、それを心ず克服しなければならないという、ファイトがわいてきました。

心の栄養を大事にしたい



福島（会社員）
幸村　輝

遠い東方の空が明るくなり静まりかえつた薄暗い町の中朝もやをぬつて初日が差し込んできた。朝だ！、一九六六年、元旦の朝だ！

思えば、学生という衣を脱ぎ、純な社会人として、はじめて迎える新春、はじめての元旦であつた。そしてまた、大事な成人式をここに迎えたこれから、自分の生きる道に対し、新らしい決意を燃やし、世に散つて行く。そこは成人になつたという「あかし」を立てる場でもあるのだとそう私は思う。

二十年間！フッとタメ息をつくがごとく、過ぎ去つてしまつた。ほんとうに夢のように…そのタメ息の間に、たくさんの貴重な思い出が、ひとつひとつ、刻み込まれているその最後の五分の一を定時制生活で閉じ、私にとつて、いちばんの思い出が託されているのです。そんな思い出や経験、学問もそうであるが、形に現われない、自分の五官で感じ得た、心の栄養を大事にして行きたい。

「井の中のかわず」に終わるのでなく、視野を広め、人間の地位でなく、幅を求めてこれからの道を歩んで行きたいのです。

そして誠意を持ち、人生意気に感じて、ことしも、さらに来年も、太い年輪を刻んで伸びてゆきたい。

▸広報車を購入◂

町では、昨年12月20日に広報と事務連絡用に使用する普通貨物乗用車（中古車）を購入しました。これは、35年12月に新市町村建設促進法に基づいて国から半額の補助金をもらつて購入した1,961年式トヨペツトスタウトのライトバンの機能がおとろえたので、それを売却して、新しく中古車を購入したものです。

こんど購入した車は、1,964年式、プリンス・グロリアのライトバンで、価格は42万円です。放送設備一式をそなえており、乗車定員は6人。座席のうしろには、荷物も積めます。

今後は、町の広報車として本来の使命のために活躍することになりますので、よろしくお願いします。

ご成年おめでとうございます。きょうから満二十才になられたあなたがたには社会人としての義務と権利が生じてきます。

各自が自主的に心身の修れんにつとめるとともに、公民としての権利と義務の自覚につとめるようにしたいものです。

□法律面では……

① 民法の第三条に、満二十歳をもつて、成人とすると規定されています。これは民法の上で未成年が成年者となり、完全な行為能力を取得することです。また結婚なども親の同意なくできるわけですが、それだけ社会的な責任が生じるわけです。

② 公職選挙法に、日本国民で年満二十歳以上の者は衆議院議員および、参議院議員の選挙権を有することになつていますから、満二十歳以上の国民は、男女をとわず選挙権を取得することになります。

③ 戸籍法上においても成年になつた者は、分籍をして独立の戸籍をもつことができます。

④ 少年法の適用を受けなくなり、その犯罪行為については、普通の刑事裁判の手続きを受けることになります。

⑤ 未成年者飲酒禁止法、未成年者喫煙禁止などの適用がなくなります。

□国民年金にも加入を

国民年金は、民間保険のような任意保険でなく、強制保険です。二十歳から六十歳までの日本人で、厚生年金や共済組合などの年金に加入していない人は、国民年金に加入しなければなりません。

満二十歳になつたとき、職場をやめて厚生年金からぬけたときは、二十日以内に役場へ、資格取得届をだしてください。この届をださないといつまでも年金制度からはずれていることになります。

くわしくは、役場の社会課へお問い合わせください。